

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m³あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)		
		6/14～6/21	6/21～6/28	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出	0.019
		セシウム137	0.110	0.130
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出	0.083
		セシウム137	0.047	0.550
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.029	0.043
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	0.015	不検出
		セシウム137	0.120	0.110
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.022	0.035
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.025	0.046
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	0.088
		セシウム137	0.021	0.660
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.064	0.080

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)		
		6/14～6/21	6/21～6/28	
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.041	0.030
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	不検出	不検出

検出限界値はおおむね0.02～0.03mBq/m³の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

渡邊正己京都大学名誉教授
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説

第64回目
大気浮遊じん放射能測定結果の解説
(平成29年6月14日～平成29年6月28日)

平成29年6月14日～6月28日の間、南相馬市の大気浮遊じん中の放射能濃度は、引き続き低い値でした。この一年を振り返ると、大気浮遊じんに限らず、農・水産物や飲料水の放射能汚染も極めて低い値で推移していますので、通常の生活をおくっておられる方々は、原発時の由来する放射能による健康影響を心配することはありません。